

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	160	住民自治協議会推進経費	01	01	一般会計
基本施策	62	豊かさを実現するための地域に合った施策を住民自	02	02	総務費
			01	01	総務管理費
			14	14	自治振興費
担当部課名		大山田支所生活環境課	102	102	住民自治協議会推進経費
作成者氏名	福岡 兵悟	連絡先	47-1163	細々目	住民自治協議会推進経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	自発的に地域のまちづくりを行おうとする市民	住民自治協議会により、地域まちづくり計画に基づく、市民が主体となったまちづくりが進められる。
本年度事業内容	1 対象 山田、布引、阿波地域住民自治協議会 2 支援内容 ① 設立交付金:組織運営を支援するための交付金(平成16年度~平成18年度) ② 地域交付金:地域まちづくり計画に基づき推進する事業や活動などを支援するための交付金(平成17年度~) ③ 人的支援:地域まちづくり計画にかかる情報提供。地域まちづくり計画に基づく、事業や活動に対する情報提供など。	
開始年度	平成 16 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等 伊賀市住民自治協議会の財政支援に関する要綱		

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
①投入人員			
正規職員 (人)	0.8	0.8	0.8
人件費合計(A)	5,760	5,760	5,760
②支出内訳(千円)			
事業費(B)	5,636	4,899	5,646
交付金	5,596	4,848	5,596
その他	40	51	50
合計(A+B)	11,396	10,659	11,406
③財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			
一般財源	11,396	10,659	11,406
上記①~③に関する特記事項			

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
住民自治地区連合会	回	3	6	6			
地域まちづくり計画策定	組織	3	3	3			
交付金支出協議会数	組織	3	3	3			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
地域まちづくり計画策定比率(策定協議会3/協議会数3)	協議会数を分母とし、地域まちづくり計画策定協議会数を分子とする策定比率を指標としました。	%	100 目標 (100)	100	100
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

<ul style="list-style-type: none"> ・住民意識で住民自治協議会と自治会(地区委員)組織の二重構造意識があるため、それぞれの役割分担などを明確にして、住民自治協議会組織を再編する必要がある。 ・組織運営にかかる支援としての設立交付金が平成18年度で終了するため、新たな支援施策の創設が必要である。 ・住民自治協議会の事業と活動支援に対する地域交付金については、平等割(25%)と人口割(75%)の算定基準により交付されているが、同じような事業であっても人口が少ない地域には不利な状況であることから住民自治協議会から交付金の算定基準等の見直しの要望がある。 ・委託事業等について、住民自治に関する内容は住民自治協議会への委託等を進める必要がある。
--

評価	必要性	4	・必要性:地域まちづくり計画において、事業実施主体が住民主体、協働、行政に区分されている。 ・有効性:地域まちづくり計画に基づく、事業や活動に交付金が有効に使われまちづくりに大きな効果がある。 ・達成度:地域まちづくり計画に基づき、おおむね事業や活動が行われている。 ・効率性:業務予算の範囲で効率的に推進した。	総合評価 A
	有効性	4		
	達成度	4		
	効率性	4		